

これが 公民館報

第326号

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

四賀の世帯数・人口

世帯数	1,932	世帯
人口	4,392	人
男	2,123	人
女	2,269	人

(令和2年1月1日現在)

書初め教室開催

新春に筆をとり新しい年を祝う



新春を飾る小・中学生を対象とした書初め教室が1月6日に開催されました。

小学校の冬休みの宿題としての「つよい心」「生きる力」などをお手本に習い、真剣に取り組んでいました。

市民タイムス展に出展する作品として、昨年旧開智学校が指定された「国宝」などにチャレンジした子もいました。入賞作品は、2月中旬に山形村のアイシテイ21で展示される予定です。

書初めは、平安時代から宮中行事として行われており、江戸時代頃から寺子屋の普及とともに庶民にも広がってきました。書いた書は、三九郎で燃やして高く上がるほどうまくなるとも言われています。今年の三九郎ではどこまで高く高く宙を舞うでしょうか。

しめ縄講習会

伝統を受け継いで



12月8日に子ども会育成会によるしめ縄講習会が開催されました。

新年を自分で作った正月飾りで迎えようとおぼろひ締め、おちよこなどを作りました。

毎年恒例の講習ですが、地域でのいわれ等、正月の伝統も学びました。

親子で参加する人が多く、子どもの方が親に教える姿も見受けられました。

新しい年が実りある年になるように願いを込めたしめ縄、しめ飾りは、お正月を迎える心構えを新たにします。

この日作ったものは、用意した松と一緒に家に持ち帰り玄関などに飾られ、気持ちも新たに令和2年を迎えたことでしょう。



アート在文字伊誰ぐ七描けぬ

つてぶで 伝筆講座

12月20日に幅幹枝さんを講師に迎え、伝筆(つてぶで)講座が開催されました。

伝筆とは、筆ペンを使ってユニークなデザイン文字を描く技法です。いくつかのコツを学べば、誰でも温かみのある可愛い筆文字が描けるといいます。

当日は10人が参加し、まず先生から筆ペンの基本的な使い方や習いました。その後は見本を見ながらそれぞれ自分の年賀状づくりに取り組めました。先生が用意した干支のネズミや花の型紙を使ってイラストを加えたり、赤色や金色のペンでアクセントをつけるなど、工夫をこらしました。らしい年賀状を仕上げました。くせ字でもそれを独特の味わいにする方法を習い、楽しく有意義な講座となりました。



おめでとう! 成人式

1月12日 松本市体育館



道路崩落から2年

五常落水の県道復旧

12月28日、平成29年の台風災害により崩落した、五常落水の県道302号の復旧工事がほぼ完了し、2年以上にわたった通行止めが解除され、通行ができるようになりました。地元の方々が待ち望んでいた。地域の皆さんをはじめ、地元の皆さんが待ち望んでいた。開通でした。

錦部赤怒田に誕生!!

錦織 四賀の里



あわせて会場となった施設の案内があり、簡易炭焼き器、ロケットストーブなどの実演が行われました。今回「四賀里活プロジェクト」

開所式として、地域づくり協議会と里活プロジェクトの代表のあいさつ、来賓祝辞、テープカットが行われ、薪のかまごでもち米をふかし杵と臼でお餅をつきました。

旧漬物工場跡を賃借して開所した「四賀の里 錦織」の誕生祭が約100名の参加により現地で行われました。これは四賀地区地域づくり協議会が主体となり、「四賀里活プロジェクト」が利用者団体として活用していくものです。



昨年の11月9日赤怒田の

午後、ピナスホールで信州大学の茅野恒秀准教授

斧による新割りの実演では、コツを教えてもらい、来場者が実際に新割り体験をしました。女性の参加者も多く、気持ちよく割れると笑顔があふれていました。お昼にはつきたてのお餅がふるまわれおいしくいただきました。

斧による新割りの実演では、コツを教えてもらい、来場者が実際に新割り体験をしました。女性の参加者も多く、気持ちよく割れると笑顔があふれていました。

ト」の招きで秋田県鹿角市と小坂町で「みんなでみんなの薪を集め、みんなで使おう。できることを持ち寄って豊かな薪ライフを」をモットーに活動している「MAKIKORI」の黒澤彰会長、山本由美事務局長と会員の皆さんが参加され、秋田県の地元で行われている「薪割り道場」を開催しました。地元では山林や閉園するりんご園などの支障木を伐らせ、せもろつて薪を生産、みんなで使用しています。



MAKIKORIの黒澤会長と山本事務局長



四賀里活プロジェクト 小林事務局長・山岸会長・胡桃澤四賀地域づくりセンター長

の進んで黒澤会長、山本事務局長と「四賀里活プロジェクト」の山岸会長、小林透事務局長、胡桃澤センター長をパネリストに「四賀で薪を生かすために」をテーマにパネルディスカッションが開かれ活発に討論されました。参加者からの質疑も多く、特に「支障木の伐採が使役ではなく、参加者の楽しみであり、薪を得る喜び」との黒澤さん山本さん両名の言葉が印象的でした。「錦織」も薪も有効に、そして楽しく活用して行こうと思いました。今「錦織」では薪の販売をしています。

の進んで黒澤会長、山本事務局長と「四賀里活プロジェクト」の山岸会長、小林透事務局長、胡桃澤センター長をパネリストに「四賀で薪を生かすために」をテーマにパネルディスカッションが開かれ活発に討論されました。参加者からの質疑も多く、特に「支障木の伐採が使役ではなく、参加者の楽しみであり、薪を得る喜び」との黒澤さん山本さん両名の言葉が印象的でした。「錦織」も薪も有効に、そして楽しく活用して行こうと思いました。今「錦織」では薪の販売をしています。



信州大学人文学部 茅野准教授

ています。

発生していません。平成24年にこの資料館が出来て以来、富山市内の全小学校が訪れ課外学習の場として、この病気の教訓を後世に生かしています。

とで引き起こされました。この病気が付いたよつです。この病気が、大正頃、神岡鉱山から排出されたカドミウムが神通川の水や流域を汚染し、農地の米などを通して体内に入ることで引き起こされました。

イタイイタイ病は、神通川流域で起きた日本の四大公害病の一つで患者が「イタイ、イタイ」と泣き叫ぶことからこの名が付いたよつです。この病気が、大正頃、神岡鉱山から排出されたカドミウムが神通川の水や流域を汚染し、農地の米などを通して体内に入ることで引き起こされました。



人権啓発推進協議会

富山イタイイタイ病資料館視察研修

りましょう。

争など世界情勢は安定しているとは言えません。1964年大会の様に成功し、平和と成長が築かれるか、あるいは1940年大会の不幸が再現されてしまうのか、答えは数カ月後には出ます。成功を祈りましょう。

定されるも、第二次世界大戦によりオリンピックそのものが中止となりました。

部分が多い気がします。▼実は1940年に東京でオリンピックが開催されることになったいましたが、日中戦争が勃発し開催権を返上、次点だったヘルシンキ開催が予定されるも、第二次世界大戦によりオリンピックそのものが中止となりました。

▼令和初めてののお年とりで、令和2年になりました。今年が東京でオリンピックが開かれます。東京で開催されるのは2回目、前回は1964年大会には東海道新幹線と首都高速道路の開通など、エポックメイキングなことがあり、日本が発展、成長し先進国となっている証明ともなりました。今回はどうでしょうか？

湧き水

▼令和初めてののお年とりで、令和2年になりました。今年が東京でオリンピックが開かれます。東京で開催されるのは2回目、前回は1964年大会には東海道新幹線と首都高速道路の開通など、エポックメイキングなことがあり、日本が発展、成長し先進国となっている証明ともなりました。今回はどうでしょうか？